

花巻清風支援学校

研究テーマ

「主体的な姿」を目指した授業づくり
～コミュニティ・スクールの推進を通して～
(2年計画の2年次)

1 全体研究

(1) 主題設定の理由

昨年度の研究では、テーマを『主体的な姿』を目指した授業づくり～単元・題材構想シートと個別の評価シートの活用を通して～』として、授業づくりと三観点による評価に取り組んだ。結果から、観点別の評価の進め方・方法を具体的に理解できたことや、シートの活用が職員間で児童生徒について共通理解を図るためのツールとなったことが成果として挙げられた。一方、「主体的な姿」の捉え方の見直し、シートをより実践で生かせるような工夫等が改善点として挙げられた。今年度は学校経営方針として、コミュニティ・スクールの推進が重点となったため、コミュニティ・スクールに関わっての地域と連携した授業実践を通して研究を進めていくこととした。以上のことから、今年度の研究では、主題を『主体的な姿』を目指した授業づくり』と継続し、副題を「コミュニティ・スクールの推進を通して」と設定することにした。研究は、学部ごとに、昨年度使用した「単元・題材構想シート」の課題点を修正した実践記録シートを用いて、単元の計画を立て、授業や評価を行う方法で進めた。また、同じく課題であった児童生徒の「主体的な姿」について学部ごとに共通理解を図った上で研究を始めることにした。

(2) 研究の目的

- ①単元や日々の学習において、目標や手立て・評価等の授業づくりを PDCA サイクルで行うことで、児童生徒の主体的な姿を職員間で共有し、より有効な授業作りを追究する。
- ②児童生徒の主体的な姿につながる、地域と連携・協働するよりよい教育活動の在り方を追究する。

(3) 研究内容

学部・分教室の授業担当者や寄宿舎職員それぞれで研究グループを形成し、推進した。

各学部が研究対象とした単元・活動内容例は、以下のとおりである（感染症拡大のために地域と関わる活動が中止となる場合は、「主体的な姿」を目指した取組を主として行った）。

①本校小学部

○生活単元学習

「りんごパーティーをしよう」、「りんご狩りへ行こう」、「七夕音楽会をしよう」他

②本校中学部

○作業学習（木工班、リサイクル班、カレンダー班、工芸班）

③本校高等部

○作業学習（農作業班、環境整備班、木工班、手芸班、調理班、紙工班、窯業班）

④寄宿舎

○清掃活動、当番活動

⑤遠野分教室小学部

○生活単元学習

「とおののまちをたんけんしよう」

⑥遠野分教室中学部

○総合的な学習の時間

「畑栽培」、「収穫感謝祭」他

⑦北上みなみ分教室小学部

○生活単元学習

「みんなでカラフルタイムを楽しもう」

「南小学校の4年生に松ぼっくりツリーをプレゼントしよう」

⑧北上みなみ分教室中学部

○総合的な学習の時間

「(南中)FG組とクリスマス交流会をしよう」
「遠野分教室に行こう」

2 高教研講演会

演 題：主体的な姿をめざした授業づくり

—知的障害教育の独自性に着目して—

講 師：岩手大学大学院教育学研究科

准教授 佐々木 全 氏

期 日： 令和3年11月12日(金)

参加者：126名

3 他の教育研究機関との連携

○ステップアップⅡ研修講座「公開授業研究会」
(県教委主催)

実施日：11月12日(金)午後

内 容：授業映像を視聴し、授業づくりの視点や各校での課題等について意見交流を行った。

参加者：16名

4 刊行物等

HPにて公開予定